

# 私の選んだ3冊

情報サービス課 石美 真也

## 『京都地図物語』 植村善博, 上野裕 編 (古今書院)

京都は歴史都市と言われるように、長い歴史を持つ都市です。京都は歴史の中で、長く日本の中心として機能し、歴史の舞台として何度も登場しました。京都を抜きにして、日本の歴史について語ることはできないでしょう。

ただ、都市について考える際には、地理的な観点からも考える必要があります。町はどのような地形の上にあるのか、景観はどのように変化しているのかなどを知ることも重要なことです。京都を知るには、歴史的視点、地理的視点の両方から見なければなりません。

本書では、京都の様々な地図や表などの資料を用いて、京都の過去・現在・未来について綴られています。京都の町がどのようにして成り立っているのかがよくわかり、京都を知るためにお勧めの一冊です。

## 『マダガスカル自然紀行』 山岸哲 著 (中央公論社)

マダガスカル島はアフリカ大陸の東、モザンビーク海峡を挟んでインド洋上に浮かぶ島です。この島はもともとアフリカ大陸と陸続きでしたが、6500万年ほど前にアフリカ大陸と切り離され、インド洋上に漂流していたと考えられています。それゆえに、マダガスカル島の動物はこの島の特産種が多いという特徴があり、動物の進化の研究に大変注目されている島です。

本書は、マダガスカル島に動物の学術調査のために訪れたグループの一人で、鳥類学者である著者による観察記録であり、鳥類をはじめ様々な動物の生態や島の自然環境が紹介されています。また、旅の中で出会ったこの島で生活を営んでいる人々の様子も綴られています。本書を読んで、日本とは違ったマダガスカル島の自然や人々の姿を感じてみましょう。

## 『日本語のできない日本人』 鈴木義里 著 (中央公論新社)

「最近の若者は正しい日本語を使っていない」とか「若者の使っている言葉の意味がわからない」という話はよく耳にします。若者が使っている言葉には、現在の文法では間違っている表現や若者だけの流行語など、少し前の日本語にはなかった表現が少なくありません。言葉は常に変化していくものですが、日本語の変化する勢いにはすさまじいものがあります。今後、日本語はどのように変化していくのでしょうか。

本書では、日本語が現在どのような状態であるのかを、特に高校生を中心にして考察されています。その中で、「日本語のできない」とは具体的にどのようなことなのか、そのようになった原因は何なのか、日本語の将来はどのようなものと考えられるかなどが述べられています。本書を読んで、私たちが日常使っている日本語について見つめ直してみたいかがでしょうか。

